



2020年11月13日

各位

会社名：株式会社じもとホールディングス
 代表者名：代表取締役社長 栗野 学
 （コード番号：7161 東証第一部）
 問合せ先：取締役総合企画部長 尾形 毅
 （TEL.022-722-0011）

2021年3月期第2四半期
 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2020年9月30日）

| | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する中間純利益 | 1株当たり中間純利益(※) |
|-----------------------------------|------------|---------------------|---------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 800 | 百万円 600 | 円 銭 26.21 |
| 今回修正予想（B） | 1,400 | 60 | △3.89 |
| 増減額（B－A） | 600 | △540 | |
| 増減率（％） | 75.0 | △90.0 | |
| （ご参考）前期第2四半期実績 （2020年3月期第2四半期） | 948 | 711 | 32.49 |

※1株当たり中間純利益につきましては、2020年10月1日に実施いたしました株式併合の影響を考慮した数字を記載しております。

2. 修正の理由

当社連結子会社であるきらやか銀行においては、金融市場の動向を踏まえ、保有する有価証券の安定運用を目指し、運用ポートフォリオを大幅に見直しする方針であります。それに伴って2021年3月期第3四半期以降において、有価証券の入替えに伴う売却損等を計上する予定であります。

これに伴い、2021年3月期第2四半期の実績及び今後の業績見通しを踏まえ、将来の課税所得及び繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2021年3月期第2四半期の連結決算において、繰延税金資産10億3百万円を取り崩し、同額を法人税等調整額として計上するため、親会社株主に帰属する中間純利益が減少する見通しとなったものです。

なお、当社の連結子会社である株式会社仙台銀行においては、資金利益、役務取引等利益が増加することなどから、経常利益、中間純利益ともに当初予想を上回る見込みであります。

2021年3月期の通期業績予想につきましては、11月20日に予定しております第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

<ご参考>

子銀行の2021年3月期第2四半期（累計）業績予想の修正（2020年4月1日～2020年9月30日）

| | きらやか銀行 | | 仙台銀行 | |
|-----------------------------------|--------|--------|-------|-------|
| | 経常利益 | 中間純利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想（A） | 600 | 400 | 400 | 300 |
| 今回修正予想（B） | 500 | △500 | 900 | 700 |
| 増減額（B－A） | △100 | △900 | 500 | 400 |
| 増減率（%） | △16.6 | △225.0 | 125.0 | 133.3 |
| （ご参考）前期第2四半期実績 （2020年3月期第2四半期） | 622 | 540 | 582 | 440 |

※本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上